



The letter of
Shinseisakuza

kunlapopolo・・・人々の中で人々と共に・・・



新制作座だより

vol.18

2019 SPRING

<http://www.shinseisakuza.com>



3月3日 ひなまつり

初めての「ひなまつり ログコンサート」開催の ご報告

今

年も友人たち、ご近所の皆さん、星槎国際八王子の生徒さん等の心を紡いでゆく、新制作座恒例のお雛祭りが3月3日(日)午後、三号館大広間にて催されました。

「嬉しい雛祭」の女声コーラスから始まり、美しく舞台上に飾られた眞山先生御所蔵の明治雛に暖かく見守られ、各所よりいらつしやったお客様のご紹介では和やかな笑いの輪が広がってゆきました。

今年の新しい趣向その1、東京音楽大学生の渡邊灯人さん、酒井悠登さんによるミニ・ピアノコンサート。素敵でした！(歌の勉強・伴奏に協力)

趣向その2、ログハウスに場所を移しての歌のコンサート。間に挟んで、災害地応援のチャリティオークション。短い時間ではありましたが、今秋赴く岡山県真備町・広島県坂町公演への心のこもった支援金が寄せられました。

今後の劇団が歩む先に見据える、歌と踊りの作品『新制作座フェスティバル』復活への光が垣間見えたような、心ときめく集いでした。

(記・原泰賢)

東京音楽大学 音楽学器楽科
ピアノ演奏家コース
渡邊 灯人さんより

新

制作座の皆さんと共に音楽をつくり始めて一年を迎えようとしています。小気味良い雨音の中、こうしてひな祭りやログハウスコンサートに携わることができたことを喜ばしく思います。

音楽家を目指す志半ばの私は、いつも新しい音楽との共存方法を試みる新制作座の皆さんを見ていて、学ぶことばかりです。ひな祭りでのおもてなしや、コンサートプログラム、演奏においての魅せ方等、新制作座の皆さんのホスピタリティに感動を覚えました。

ログハウスでのコンサートは初ということ、音響の問題や発声の仕方など、新たな課題が見えてきた良い機会でした。音楽を伝えることの難しさを実感する体験は、その人の感性を育てるチャンスだと考え、今後の糧になれば良いなと思いました。

音楽は料理のようなもので、相手を思う気持ち、つまり「与え手」としての意識がとても重要です。しかし、思いだけでは料理は美味しくはならないのと同様、技術が

伴わなければいくら素晴らしい音楽であっても伝わらないのが難しいところ。まだまだ学徒途中の私ですが、音楽を学ぶ道を選んでいる以上少しでもお役に立てるように、精進しなければと思います。改めるよい機会をいただきました。

東京音楽大学 音楽学器楽科

ピアノ演奏家コース

酒井 悠登さんより

ピ

アノ伴奏者として新制作座にお世話になって、初めてのコンサートでした。

当初は文字通り伴奏者としてピアノを弾かせていただいていたが、バスパートの人数が少ないということで、次第に合唱にも参加させて頂くことになりました。そしてついに（ほぼ知穂さんの無茶振りですが）今回ソロを歌わせて頂くことになりました。

伴奏はともかくとして、今回のログコンサートは「ソロで歌った」ということが、僕の中で一番の事件です（笑）

伴奏をさせて頂く中で、歌手の皆さんの歌声をよく聞くこと、そして改善点や気がついた点を的確に皆さんに伝えること、それが

いかに難しく大切なことなのか、ということをつくさん学ばせていただき、今回のログコンサートでは、僕の中の一つの集大成として披露させて頂くことができたかな、と思います。

また今後も、様々な場所で皆さんと音楽ができることを、楽しみにしております。



ログコンサートにて

「イベント」

「新年の集い」の幸せ

—1月1日元旦—

最

近、枕言葉のように多くに冠される「平成最後の」。

今回は「平成最後のお正月」だが、幾たび聞いていてもなぜか感慨深いものがある。天皇制云々ではなく、天皇后両陛下が歩まれた道を辿らずにいけない。殊に激戦地や沖縄で深く深く頭を垂れていられる姿が忘れられない。

さて、劇団の新年の集いが、いつも増して賑やかだったのは、今年もエリトリアとブータンからスポーツ留学生と中国の留学生、そして星槎国際八王子の寮生が参加してくださったから。〇〇ファーストの嵐が世界に吹き荒れる中、私たちの所は、世界中の人々と手を繋いでの新年の幕開けになった。なんとという喜び!! 恒例の一人一人のスピーチは素晴しかった。ここにご紹介しきれないのが残念だが、「ぜひとも聞きたい」という方は、来年の新年の集いにご参加ください。参加資格は、ご自分もスピーチすること。来年はもつと沢山のアスリー

トの熱気に包まれるかも。今から楽しみ。
(記・江崎はんな)



平成最後のお正月

「泥かぶら」

再びの燕市公演！

— 2018年11月25日～30日
新潟県燕市内中学校 —

昨 年11月の5日間、燕市内5校の中学校で体育館公演が実施され、約2,000人の生徒さんが『泥かぶら』を観劇しました。3年前に燕市合併10周年記念で実現して以来、今回で2度目とな

ります。

市長さん始め市の方々が中学生の頃にこの作品に触れ、心に深く残して下さっていた事。それと同時に体育館が素敵な劇場に変わる感動を作品と共に味わってもらいたいという思いが、各校での5日間の体育館公演となったのです。今回、いろいろな諸事情を乗り越え、実現に踏み切ってくださいました。

体育館公演は多くの労力と技術と経験が必要です。この度、元劇団員で現在故郷で町会議員を務める滝沢幸映さんが応援に駆けつけてくれました。2階への運び上げの小池中学校の日には、五泉の古き友人たちも加わり、温かな友情を日々感じながら5日間乗り切ることができました。どの公演も食い入るように舞台を見つめる生徒さんたちに感動しました。ご主催いただいた市長さん



滝沢幸映さん、5日間の体育館公演お疲れさまでした!!



市立小池中学校公演にて

始め教育委員会の皆様、各学校の先生方、素晴らしい客席を作ってくれた生徒さん、応援してくださいました全ての皆様に感謝！

(記・木村 幸子)

「泥かぶら」

嬉しい2回目の公演

— 2018年12月10日
立川女子高等学校 —

こ の度の芸術鑑賞会は2回目の『泥かぶら』。前回は2012年でした。担当の先生とは長いお付き合いをいただいて、今回のお申込み、大変嬉しく有難く思いました。

生徒さんと共演する「村の童」は、さすが女子高演劇部！客席の反応も楽しんで舞台を務めてくれました。

この公演には、関東の学校から芸術鑑賞を担当する先生方が下見に来られていました。千葉の私学の先生は、お二人で顔を紅潮させ「いや〜演劇って引き込まれますね！楽しかったな〜」と、若い方らしく無邪気にお礼を言われ、都内のベテランの恰幅の良い先生は「一般の公演はありませんか？ぜひ母に観せたいんです」と、息子の顔になり「こんな劇団が今も残ってる！」と、ひどく感心した様子で帰って行きました。

(記・小津和知穂)



演劇部の生徒さんたちがイキイキと演じてくれました

— 観客の声 —

星槎国際高等学校

浜松学習センター

小野知恵教諭より

2018年12月18日に星槎国際高等学校 浜松学習センターで『泥かぶら・八郎・賢者の贈り物』のドラマティックリーディングと歌唱を鑑賞させていただきました。

教室を会場にして上演していただいたため、役者の方々と生徒との距離が近く、本格的な朗読劇を目の前にして生徒たちはとても感動していました。生徒たちの中には演劇部の生徒もあり、鑑賞を通してそれぞれが感じた想いを日々の部活動にも活かしていきたい



オー・ヘンリー作『賢者の贈り物』

と、今も発表に向けて練習に励んでいます。

最後に全員で円になって手をつなぎ視線を交わしながら、認め合う気持ちで星槎の歌をうたい、初めは表情が硬かった生徒も自然と笑顔になりました。教室から車へ荷物を運ぶ等の片づけのお手伝いをさせていただいたり、眞山さんからお言葉をいただいたりして、最後まで暖かい雰囲気での交流ができました。

また、このような新制作座の皆さまと交流する機会をつくり、生徒たちの心の成長のきっかけにしていき、保護者の方や地域の方々へも広げていきたいです。今回は浜松にお越しくださり、本当にありがとうございました。



「泥かぶら」

1年間お疲れさまでした

— 2018年12月19日

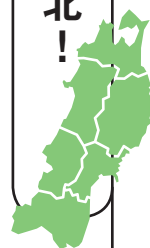
岡崎市立翔南中学校 —

毎

年必ず『泥かぶら』を上演する歴史を重ねてきた土地がある。愛知県と九州。

1952年の初演の幕が開いたのが「愛知」その後「九州」へ。幼い頃、心を震わせ泣いた『泥かぶら』を今の子どもたちにも観せたいんですと、岡崎の先生から上演

行くぞ東北！



雪をも溶かすおもてなし

— 2月9日 山形県尾花沢市

除雪ボランティア —

尾花沢市に入ると、一面の銀世界が私の心を震わせた。やる気十分！着いてすぐに作業かと思いきや、歓迎のおもてなしの嵐！辛煮・漬物・シソ巻等、持参したおにぎりが要らない程の料理。花笠音頭も披露してくださり、和氣藹々とした中、雪掘りが始まった。

私の班は11歳〜74歳の女性とベテラン雪掘り男性陣のいる最強グループ。このボランティアに何回も参加している方々なので不安なくこなせたが、なぜ雪かきではなく雪掘りと言ったのか分かった。本当に掘る。

埋もれた家屋が見え始めた頃、家

依頼が届きました。新制作座を育み愛してくれた故郷に感謝を込めて皆舞台に立ちました。2018年大千秋楽おめでとうございます。（記：小津和知穂）

主の方からも「感謝しきれない」とご馳走になってしまふ。作業終了と言われているのに、こども〜と続ける全員のボランティア精神に、まるで「泥かぶら」の様だと感動した。最後に参加者全員でソリ遊びを楽しみ、東京では味わえない雪を体験した。

今回の参加者は、岩沼・尾花沢・大崎・大阪と全て『泥かぶら』を公演した地域からで、観劇してくださった皆様と交流ができ、力仕事で少しでも気持ちを返させていただけただことに感謝。岩沼・尾花沢の皆さんの心意気に心が暖まる雪掘りとなりました。（記：福島里佳）



チームを組んで雪掘り



3学年分の感想文をいただきました

— 観客の声

岡崎市立翔南中学校から
感想文が届きました。

1年生 女子

泥かぶらが働く事が好き！という
ことに気づいた時から、すごく
キラキラしていて、この物語で伝

「イベント」

星槎国際八王子演劇部「燕の居る駅」 公演顛末記

— 2018年12月23日 八王子学生演劇祭 いちようホール —

本を一読した劇団員は異口
同音。「これはムリ！」何し

る人類終焉の日がテーマの不条理
劇。2時間半を越す上演時間、し
かも大道具は二階建ての駅舎とい

えたかったことがわかりました。
躍動する泥かぶらに見入ってしま
いました。

2年生 男子

第一幕の泥かぶらが、いじめら
れてから自分の役割を見出すまで
とても感動しました。第二幕では
最後におじいさんの言葉に繋がっ
ていることで、こういう終わり方
をするんだ！と、深くかんじるも
のがありました。

3年生 女子

本当の美しさや本当の豊かな心
を実感することができ、これから
の生き方について考え直す大きな
機会になりました。人に希望が与
えられる、そんな人になりたいと
思いました。

う大掛り、真面に制作すれば50万
円はかかる。それでも彼等は「や
る」という。ど素人の怖いもの知
らず。その上、何と15歳の一年生
が演出をするという。



高校演劇とは思えない大道具！

果たして1ヶ月経ってもテキスト
トレジャーが進まない。ついに八王
子学生演劇祭の主催団体から電
話が入った。「大丈夫でしょうか、
他校は既に通し稽古を重ねてい
ますが…」公演日までもう1ヶ月
も無い。たまりかねた劇団員た
ちが重い腰を上げた。さあそれか
らが大変。作者には悪いがセリフ
はバサバサ削られ、容赦ない叱責
が彼等を襲った。若き演出家は
泣き喚き、キャスト組の目は吊り
上った。それでも涙の下から若い
アンサンブルが徐々に培われて
いった。女子部員もガチ袋(*)
を下げて大道具転換を手伝った。

そして迎えた公演当日。彼等の
若い力が爆発した。今までで一番
良い出来栄えだった。上演時間1
時間20分。満員の客席の喝采を
浴びて演劇祭のトリを飾った。駆
け付けた星槎の先生方も満足げ、
燕の雛の羽搏きを見守ったので
ありました。(記: 込山慶二郎)

*ガチ袋(がちぶくろ)

釘やなぐり(かなづち)などを入れて腰にぶら下
げる道具袋のこと。この袋に「ガチ」を入れてい
たことから呼ばれるようになった。「ガチ」とは、
「コ」の字型をした鍔(かすがい)のこと。

「ドラマティックリーディング」

大磯の海をバックに

— 2月26日 神奈川県大磯町

聖ステパノ学園 —

可 愛らしい小学生と、少し大
人びて見える中学生のいる

聖ステパノ学園。

会場の講堂が小高い山の上に
あり、狭いギリギリの道をワゴン
車「泥かぶら号」で上がった。舞
台設営中に窓から鳩が飛び込み
対応におわれる先生、毎度何かが
必ずあります。

今回講堂ということマイク
なしで、いざ朗読。大きな声にビッ
クリして若干戸惑う子がいまし

たが、良く鑑賞していました。

演目が進みワークシヨップへ。
まずはソーラン節、お囃子を子どもたちで、歌は劇団員、踊りはフレッシユなメンバー2名が加わり、5人の男衆が舞った。大磯の海が背景に見える舞台で、子どもたちの元氣いっぱい掛け声が飛び交い、楽しい交流のひと時でした。

その後、劇団のオリジナル曲を披露し終演に！昔『泥かぶら』を観劇された校長先生からの想いのこもったお礼の言葉に、この作品の大切さを改めて感じました。子どもたちからの花束贈呈、劇団からは眞山美保詩集と泥かぶらの絵本を。小人数ながら、舞台と身近な距離間に一体感を感じられる公演でした。（記・亀川忠助）



若い2人のソーラン節デビュー

「イベント」

ああ、クリスマス

— 2018年12月23日 —

「あ

あ、クリスマス」これは1960年に眞山美保が書いたエッセイのタイトル。その一文の最後はこう書かれていました。「ああ、クリスマス。その豊かなイリュージョンはこう私にいろいろと考えさせ、幼い時の寢床の中で思い続けたように、人間はもっと美しく生きる権利があると首をはねあげて思い、暗いさまたまの人生を思い、もっと美しく生きられる人間の未来の生き方を考え続けさせてくれるのです。主よみもとに近づかんのぼる道は十字架にありとしなども悲しむべき主よみもとに近づかん」

こうして新制作座ではどんな時でも毎年クリスマスを祝ってきました。そして今年もその日が来しました。がそれは例年とは異なっていました。何とこの日、星槎国際八王子高校の演劇部が市内の劇場で初公演したのです。それは多くの大人の心配を覆す大成功でした。いつもと異なるとして当然。ツリー飾りの星々も天使も、この

若者たちの上で踊っていました。もう一つの眞山美保の言葉。「若者よ、大人の苦悩と涙の上にしっかりと立って、きらきらとその生命を輝かせ！」そのもののよう。ああクリスマス。メリークリスマス。（記・江崎はんな）



『燕の居る駅』の公演を終えた生徒たち

「イベント」

感動の瞬間！

— 星槎国際湘南女子サッカー部
全国大会優勝！ —

1 月13日 全国高校女子サッカー選手権大会決勝戦が神戸市で行われました。創部5年目で初の決勝進出！ 対戦相手は過



喜び合う選手たち

去5回優勝の仙台常盤木学園。これは応援に行くしかない、朝の新幹線でスタジアムに向いました。スタンドは全国から駆け付けた星槎の仲間500人がキックオフを今か今かと待ち構えています。いよいよ試合開始、応援席はスタンディングで応援歌、手拍子とピッチを駆け回る選手と一体になり声を枯らしての応援！！

前半20分過ぎ、フリーキックのチャンス、DF黒柳選手の右脚一閃30mの弾丸シュート。ボールがネットを揺らした瞬間応援席のボルテージは最高潮に。応援をリードしてくれていた先輩の生徒に話しかけると、「黒柳先輩は練習居残りであの距離から何時も蹴ってました」と教えてくれました。正に日頃の練習の成果、貴重な先制点に。後半は全員が身体を張ってのデイフェンス、GK小野選手の

ファインセーブ有り、一点を守り切った選手たち、試合終了の長いホイッスルが鳴った時にはスタンドでは誰彼となくハイタッチしながら喜びが爆発、ピッチの選手と一緒に歓び合いました。

後日私は思いました、この優勝は宮澤会長の想いが又一つ具現化した瞬間なのではと。選手の皆さんお疲れ様でした。そして感動を有り難う!! (記・山形 久人)

青果生誕140年記念企画展

— 金沢の徳田秋聲記念館へ —

小 松空港は、雲厚く小雪が舞っていた。久しぶりの金沢旅行に心は踊っていた。今回の旅行は、徳田秋聲記念館の「青果生誕140年記念企画展」を観るためと石川県の高等学校での『泥かぶら』公演を実現するための挨拶まわりを兼ねてのもの。

リムジンバスを降り金沢駅の変貌に目をみはった。観光客のための周回バスに乗り徳田秋聲記念館に向かった。浅野川兩岸は秋聲の道と鏡花の道と名付けられ、茶屋街は外国人観光客で賑



金沢「徳田秋聲記念館」にて

わっていた。京都鴨川の風情に似た趣のある場所に立つ記念館は桜の時期はさぞ見事なことだろうと思いつながら歩みを進めた。

到着すると学芸員の藪田由梨さんが出迎えてくださり、上田正行館長にお目に掛かった。

青果が秋聲に送った手紙が多く残され、二人の関係の深さを再認識した。藪田さんの秋聲愛に溢れた説明を聞き、徳田秋聲の人となりに触れられて秋聲は私の近い人になり、作品を読みたいと思った。

仙台が青果を生み、金沢が秋聲を生んだ。人間の営みの積み重なりが文化を生みそでてる、金沢には長い歴史とその積み重なりを感じずにはいられなかった。

(記・眞山蘭里)

劇団員の紹介 No.05

神谷 令子

reiko kamiya

このコーナーは、劇団員の活動秘話などをとりあげ、一人ずつご紹介します。



【プロフィール】

1962年に11期生として入団。劇団の代表作『泥かぶら』で「村の童」に「泥かぶら」役を経て、現在は「中年の女」役を演じている。

【Q & A】

◎ 神谷さんにとって新制作座とは？

① 私の生き方「心の基盤」と言うのがびったりしてるのかな。言葉で言うのは難しく、ものすごく考えました。何をやる時にも基準となっていて目標にもなっている。生き方そのものがきつと「泥かぶら」に繋がっていると思います。

◎ 入団当時の夢や志は？

① 中学1年生の時に『泥かぶら』を演劇鑑賞で観せてもらった1人です。その舞台を観た時は泣けて泣けて、どんなに泣いたかわからないくらい。それで高校3年の時に眞山美保先生の「日本中が私の劇場」を友人が貸してくれて、一気に全部明け方まで読み、その日に新制作座に電話をして「入れてください!!」と頼みました。そして試験を受けたのです。

私たちの時代は、俳優座や民藝、文学座など、とても盛んな

時代でしたから選択肢はありましたが、やっぱり新制作座の井荻の稽古場を訪ねた時の劇団員の明るさと温かさ、素朴さと人間らしさっていうのかな。もうそれは迷うことはなかったですね。ここに入れたら何でもやろうと思いました。

◎ 携わった作品、印象に残るエピソードは？

① 入団してすぐに『新制作座フェスティバル』の稽古を重ねた後、その年の夏には『泥かぶら』班になりました。入って7ヶ月目で大阪公演の初日の舞台を踏んだんです。周りはみんな大先輩。今から考えれば、ただ元気がいいのだけが取り得だったと思います。そういうスタートを切らせていただいたことは本当に幸せですね。ブラジル公演は、私は行く予定ではなかったのですが急遽「泥かぶら」役で行くことになり、先生は一緒に行くことができませんでしたので「あなたが舞台に立つ時は、私もあなたと一緒に舞台に立っています」という言葉が頼りになり、心の支えになりました。

◎ 劇団の活動以外に熱中しているものはありますか？

① 年配の方々と過ごす「ふれあいサロン」などに関わっています。いろいろ教わり、地域で助け合える関係を作りたい。

◎ 今後の夢や目標は？

① 今自分が舞台に立っている事を本当に幸せに思っています。長い事俳優の仕事が続けていても、その日の客席と共に創る舞台は一度だけ。一生をかけてこの仕事を続けたいと思っています。

2019年 新制作座公演スケジュール

4月	18日	星槎国際高校立川・八王子 新入生歓迎公演
5月	9日	演劇『泥かぶら』 新潟県五泉公演
7月	7日	新制作座 研究生日舞発表会
8月17~19日		夏休み特別公演(一般公演) 演劇『泥かぶら』 ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』
9月	20日	演劇『泥かぶら』 三重県御浜町公演
	23日	演劇『泥かぶら』 倉敷中央ライオンズクラブ50周年記念公演
	24日	ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 岡山県立真備綾南高校(*)
	26日	演劇『泥かぶら』 島根県立出雲工業高校 芸術鑑賞会
10月	3日	ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 あきるの市立一ヶ谷小学校
	15日	星槎学園 芸術鑑賞会
	18日	ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 郡山ザベリオ学園 芸術鑑賞会
	25・26日	演劇『泥かぶら』 熊本県山鹿市 八千代座公演(計画中)
	28日	演劇『泥かぶら』 九州学院中学高等学校 芸術鑑賞会
11月	1日	演劇『泥かぶら』 福岡海星女子学園・精華女子高等学校・ 星槎国際福岡 芸術鑑賞会
	4・5日	演劇『泥かぶら』 広島県坂町(*)
12月	21日	新制作座クリスマスパーティ 2019

大切なお願い

昨年7月各地を襲った豪雨災害に対し、
心よりお見舞い申し上げます。

昨年の“がんばろう熊本”復興応援公演に続き、今年は岡山県真備町・広島県坂町で公演を計画しております。公演にかかる経費67万円が足りない状況です。同封いたしました郵便振替の用紙にて、皆様のご理解とご友情をお寄せいただけましたら有難く存じます。

ご協力をお願い申し上げます。

左記「公演スケジュール」の(*)印が復興応援公演です。

4年ぶりの東京公演決定！

演劇『泥かぶら』
ドラマティックリーディング&プチフェスティバル
夏休み親子観劇会

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟小ホール

2019年8月17日(土)

開演 14:00 演劇『泥かぶら』

開演 18:30 ドラマティックリーディング&プチフェスティバル

18日(日)

開演 11:00 ドラマティックリーディング&プチフェスティバル

開演 15:00 演劇『泥かぶら』

19日(月)

開演 13:30 演劇『泥かぶら』

※この度の公演は、全国各地で『泥かぶら』
を検討されている諸先生方の作品の下見
を希望するお声に応える企画となっております。
制作担当者までお問合せください。

4月/3日
前売り券
発売開始
!

NEWS

歌舞伎公演 『元禄忠臣蔵』 のお知らせ

徳川綱豊卿に初役の中村扇雀文。3月は国立劇場・小劇場での上演です。



劇団新制作座 衣装部 [朱鷺 -toki-]

RTC和装体験

春風を運んで、ブータンのRTC (ロイヤルティンブーカレッジ) の若き学生たちが来日しました。(1月27日~2月6日)、今年で8回目を迎えますが全員女性ばかりでした。第1回から恒例の着物体験を凄く楽しみにしていたそうです。無邪気で聡明、あたたかくてチャーミングな人たちでした。



劇団新制作座

[新制作座だより] 第18号 2019年3月10日 発行

発行：NPO法人 劇団 新制作座 〒193-0826 東京都八王子市元八王子町2-1419

tel: 042-661-0001 fax: 042-661-6702 e-mail: info@shinseisakuza.com